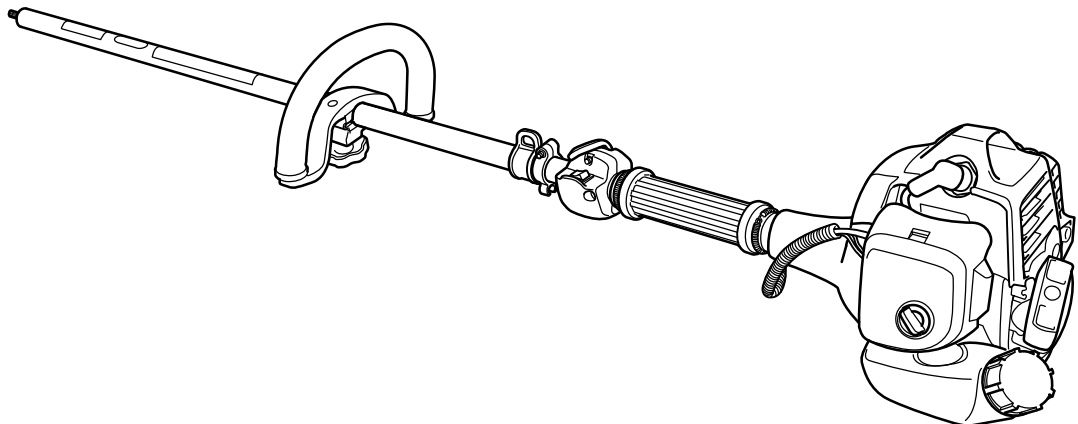


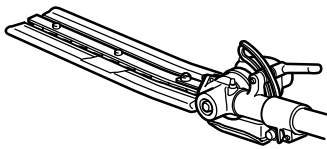
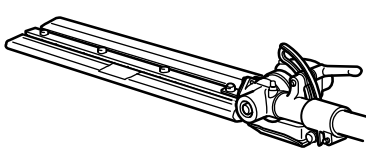
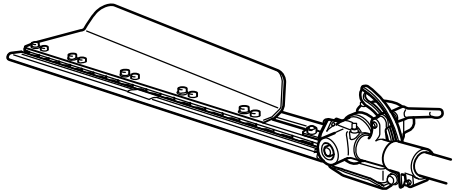


ゼノア 剪定・畦草刈機 取扱説明書

PHT 750-EZ PHT1200-EZ PHT1500-EZ



別売品作業機アタッチメント

		
商品名: HHTZ-A 商品コード: 580720501	商品名: LHTZ-A 商品コード: 580720601	商品名: SHTZ-A 商品コード: 580720401

※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

* This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.

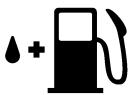


警告



- この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味
燃 料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作すると チョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作すると チョークが開くことを示します。

はじめに


このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。




安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。


 危険	: 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 警告	: 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 注意	: 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重 要	: 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補 足	: その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目 次

▲ 正しくお使いいただくために	1
警告ラベルとその取扱い.....	5
サービスと保証について.....	7
製品主要諸元.....	8
各部の名称.....	9
標準付属品.....	9
組 立	
ループハンドルの取り付け.....	10
別売品作業機の取り付け.....	11
燃料.....	12
給油.....	13
エンジンのかけかた.....	14
エンジンのとめかた.....	16
操作方法	
刈刃角度の調整.....	18
肩掛バンドの装着.....	18
緊急離脱ツマミの操作方法.....	18
点検整備	
作業前後点検.....	19
定期点検.....	19
刈刃.....	20
ギヤケース.....	21
エアクリーナ.....	22
燃料フィルタ.....	22
スパークプラグ.....	23
冷却用空気通路.....	24
100時間使用毎の手入れ.....	24
エンジンの調整.....	25
長期保管時の手入れ.....	26
故障のときは.....	27



正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。
- 本製品は樹木の枝葉の剪定を用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的には使用しないでください。
- 本製品は鋭利な刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作ができない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。
- 初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に安全な場所で試運転し、製品の取扱に習熟してください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。
- この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。
- 小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。



- エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。
屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。



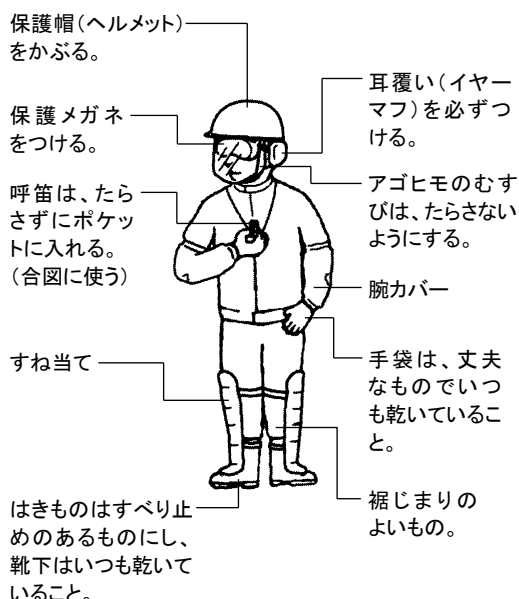
- 次のような場合はお使いにならないでください。
 - ① 足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合
 - ② 霧や夜間など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合
 - ③ 天候悪化時(降雨、強風、雷など)

- この製品は運転中に電磁界を発生し、電磁界がペースメーカーやその他の医療器具に干渉する場合があります。
重傷・致命傷のリスクを軽減するために、ペースメーカーやその他の医療器具を装着された方は、この製品を使用する前に医師またはペースメーカー・医療器具メーカーに相談してください。



正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備



- 本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

- ① 長袖長ズボンで厚手の作業服
- ② 保護帽(ヘルメット)
- ③ 保護メガネおよび顔面防護ネット(フェースシールド)
- ④ 丈夫な手袋または防振手袋
- ⑤ 滑りにくい丈夫な保護長靴(先芯入り)または滑りにくい安全な靴(先芯入り)
- ⑥ 耳覆い(イヤーマフ)

また、次の用品を携行してください。

- ① 製品付属工具および目立てヤスリ
- ② 適切な容器に入れた燃料
- ③ 刈刃汚れ落とし用ワイヤブラシ
- ④ 呼笛(共同作業時や非常時の合図用)
- ⑤ 作業区域表示用具(ロープ、立て札等)

- 裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

- 事故やけがに備え、次の用具を携行してください。

- ① 救急箱
- ② 止血道具(タオル・手ぬぐい等)

■ 燃料に関する注意事項

- 本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。



- くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

- 燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

- 使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

- 給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

- 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。



正しくお使いいただくために

■ 使用前の注意事項

- 作業を始める前に現場の状況（地形、剪定する樹木の性質、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。
- 作業員から15m以内を危険区域とし、この中に人が立ち入らないよう標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示をしてください。また、数人で共同作業を行う場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。
- 作業を開始する前に機体各部を点検し、ねじ類のゆるみ、燃料洩れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特に刈刃および刈刃取付部は入念に点検してください。
- 刈刃の部分の装置が損傷している場合、あるいは刈刃が著しく摩耗している場合は機械を使用しないでください。
- 機体の保持部（ハンドルグリップ）や保護装置がすべて正しく取り付けられていることを確認してください。

■ エンジン始動時の注意事項

- エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。



- 始動時は機体を両手でしっかりと保持し、刈刃やスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないよう機体をしっかりと固定してください。スロットルレバーがアイドルリング位置にない状態でエンジンをかけると、始動と同時に刈刃が動き出し、非常に危険です。
- エンジン始動時は常に、スロットルレバーをアイドルリング位置（完全に戻した状態）にしてください。
- エンジン始動後、スロットルレバーをアイドルリング位置に戻した状態で刈刃が動かないことを確かめてください。刈刃が動き続ける場合はエンジンを停止し、スロットルワイヤ他の点検整備を行ってください。（本文25ページ参照）



正しくお使いいただくために

■ 作業時の注意事項

- 作業時は機体の握り部（ハンドルグリップ）を両手でしっかり握り、両足は均等に体重がかかるように肩幅より少し広めに開いて、常に安定した姿勢をとるようにしてください。作業を中断する場合は、スロットルレバーを完全に戻し、エンジンを停止してから手を離してください。
- エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。
- 作業中は、切り落とされた枝にあたる危険がありますので、作業範囲内に他の人を近づけないでください。
- 雨中や雨上がり後は、足元が滑りやすいので、十分注意してください。
- 刈刃に枝などがかみ込んだ場合は、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。
- 落下する枝から身を守るため、必ず所定の防護具を着用し、作業中は枝の動きや落下方向に十分注意してください。
- 作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

- 電気ショックを受ける恐れがありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。



- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグ、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。

- 作業を中断して移動するときは、エンジンを停止し、刈刃にカバーを取り付け、刈刃を前向きにして持ち運んでください。
- 運搬中の衝撃で燃料が漏れ出す恐れがありますので、燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。

■ 整備上の注意事項

- 製品の機能を維持するため、定期的に本書記載の点検整備を実施してください。本書に記載されていない整備や部品交換が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。
- 製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作ができなくなる危険があります。
- 点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。
- エンジン停止直後は、素手でマフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグ、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。
高温のためやけどの危険があります。
- 刈刃の着脱や研ぎ直しをするときは、けが防止のため丈夫な手袋を着用して、慎重に作業してください。



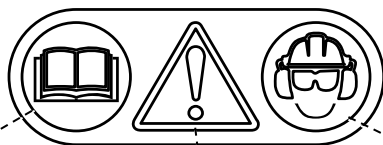
- 刈刃などの交換用部品や補充用油脂類は、必ず当社純正品または当社指定銘柄品を使用してください。



正しくお使いいただくために

■ 警告ラベルとその取扱い

① 品番 8488X10030



取扱説明書をよくお読みください。

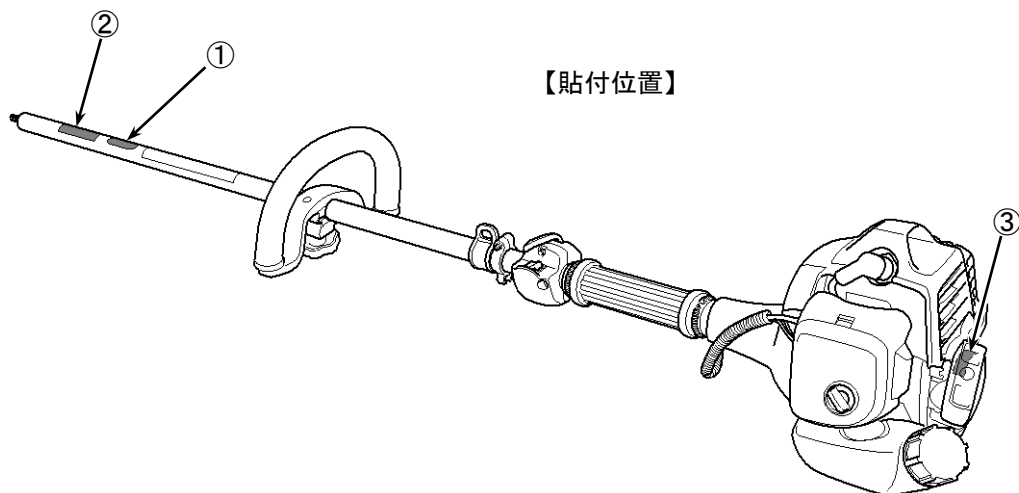
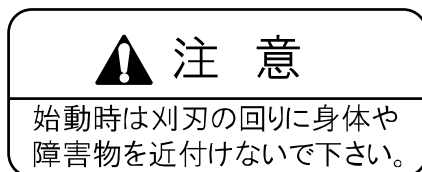
使用時は目と耳の保護具を着用してください。

この機械は取扱いを誤ると死亡または重傷を負う危険があります。

② 品番 588866301 (PHT1500-EZ を除く)



③ 品番 550091190





正しくお使いいただくために

別売品アタッチメント

④ 品番 585173401

この機械は取扱いを誤ると死亡または重傷を負う危険があります。



作業時は顔面防護ネットとヘルメットを着用してください。

取扱説明書をよくお読みください。

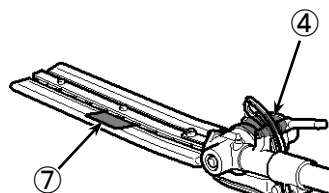
刈刃に注意(手を触れるな)

⑤ 品番 585178201



【貼付位置】

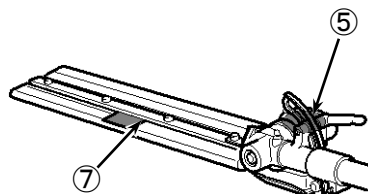
HHTZ-A (580720501)



⑥ 品番 585172501



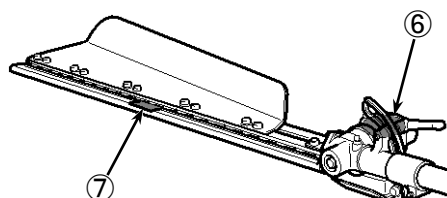
LHTZ-A (580720601)



⑦ 品番 659813890



SHTZ-A (580720401)



【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

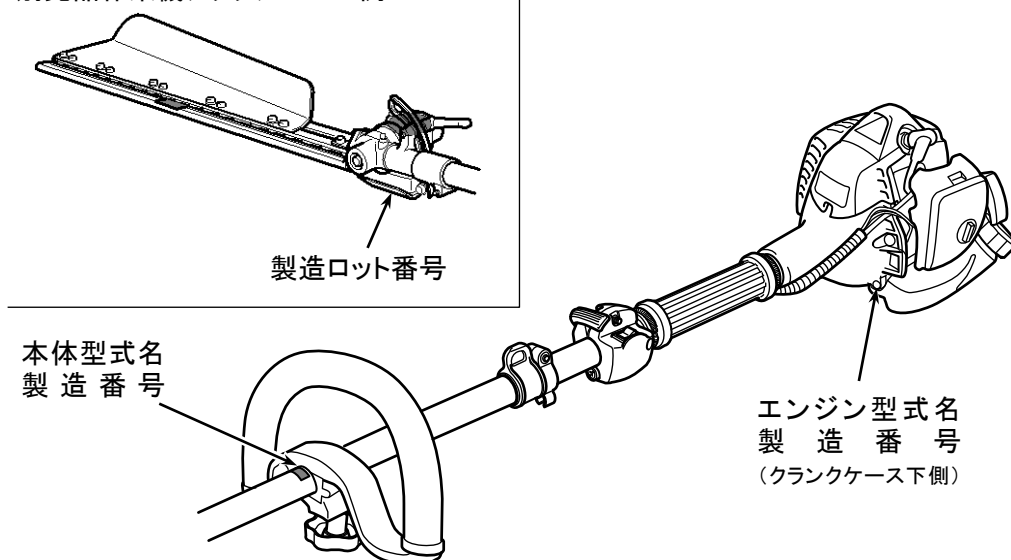
ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。

別売品作業機アタッチメント 例:SHTZ-A



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後 8 年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



警告

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

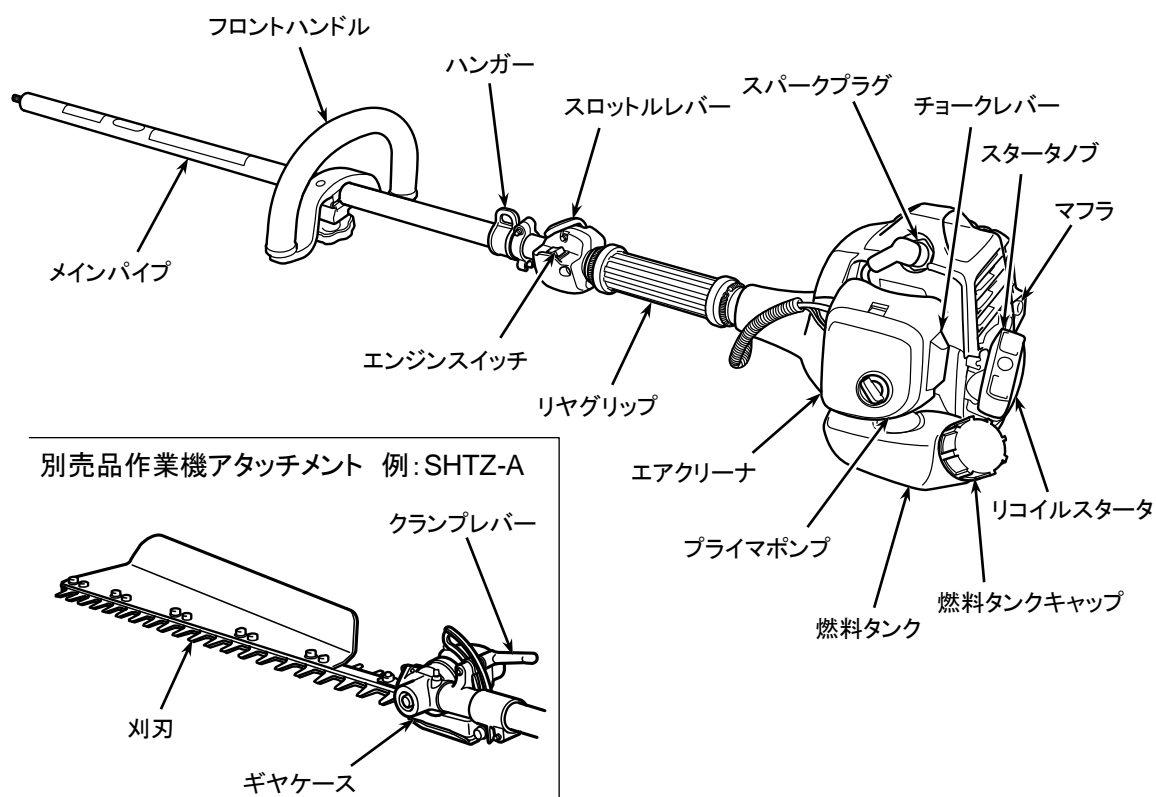
製品主要諸元

名 称 ・ 型 式			ゼノア 剪定・畦草刈機		
			PHT750-EZ	PHT1200-EZ	PHT1500-EZ
ハ ン ド ル 型 式			ループ		
本体乾燥質量(※1) kg			3.1	3.2	3.4
外 形 寸 法	全 長	mm	965	1415	1715
	全 幅	mm	223		
	全 高	mm	218		
動 力 伝 達 方 式			自動遠心クラッチ		
減 速 比			4:1		
エ ン ジ ン	型 式		G20LS(単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン)		
	排 気 量 cm³		21.7		
	燃 料タンク容量 L		0.5		
	使 用 燃 料		潤滑油混合ガソリン 〔混合比:ゼノア純正オイル(FD 級)使用時 50:1 ゼノア純正オイル(FC級)使用時 40:1〕		
	使 用 潤 滑 油		2サイクルエンジン専用オイル		
	キ ャ ブ レ タ		ダイヤフラム、ロータリーバルブ式		
	点 火 方 式		無接点式フライホイールマグネット		
	ス パ ーク プ ラ グ		NGK BPM7Y		
	始 動 方 式		リコイルスタータ式		
	停 止 方 式		点火回路一次側短絡式(シーソー式)		
付 属 品			肩掛バンド、保護メガネ、工具セット		

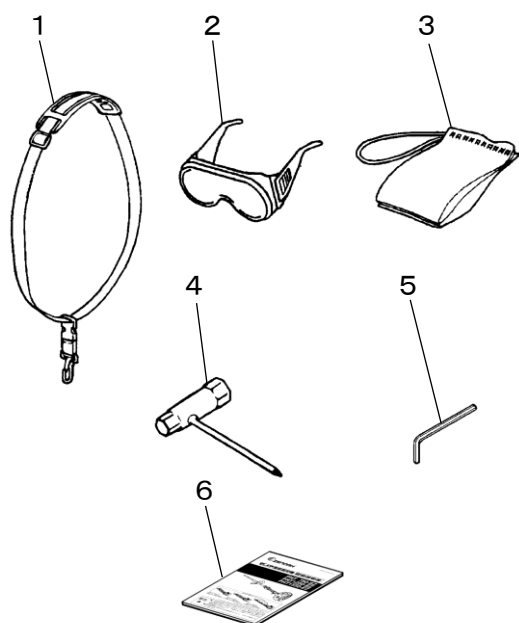
(※1) 肩掛バンド、燃料を除く

■改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

各部の名称



標準付属品



図番号	部品番号	品名	数量
1	848J823610	肩掛けバンド	1個
2	T354192110	保護メガネ	1個
3	352091110	刈刃収納バッグ	1個
4	577873401	ソケット	1個
5	0900700425	六角レンチ 対辺 4	1個
6	115763179	取扱説明書※	1冊

※保証書が挟み込まれています。

組立



注意

- 組立時は各部品を正しく組み付けてください。組み付けを誤ると事故を招く恐れがあります。
- ご自身で組立が困難な場合はお買い上げ店にご相談ください。

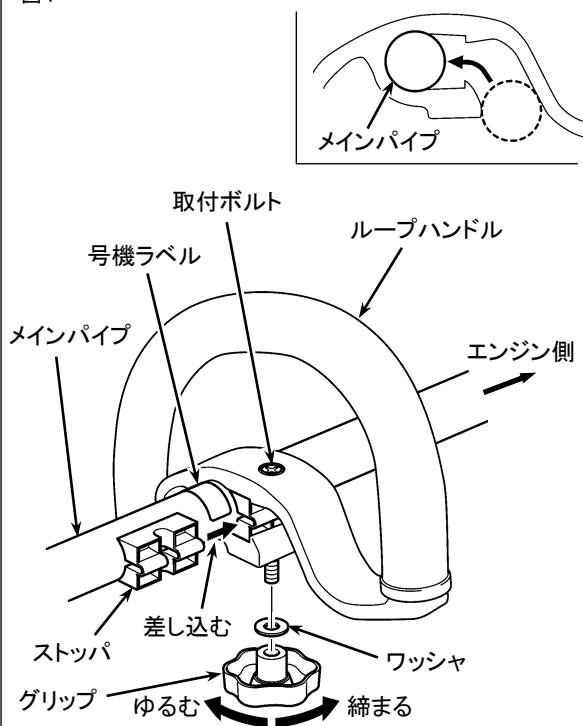
■ ループハンドルの取り付け



危険

- ハンドルがゆるむと作業中動いてしまい大変危険です。確実に締め付けてください。
- 作業中にハンドルをゆるめたり、ねじめるような使い方はしないでください。
- 位置の調整は必ずエンジンを停止し、刈刃が止まったことを確認してから行ってください。

図1



1. 付属のループハンドルのグリップ、ワッシャおよび取付ボルトを外し、ストッパを取り外してください。

2. 左図のようにループハンドルをメインパイプに押し込んでください。

補足 ループハンドルの取付方向を間違えないようにしてください。

3. ストッパを図の→の方向に差し込んでから取付ボルトを挿入します。次に、付属のワッシャを取付ボルトに挿入し、グリップを回して軽く締め付けてください。

4. ループハンドルの端を号機ラベルに合わせ、グリップを締め付けて固定してください。

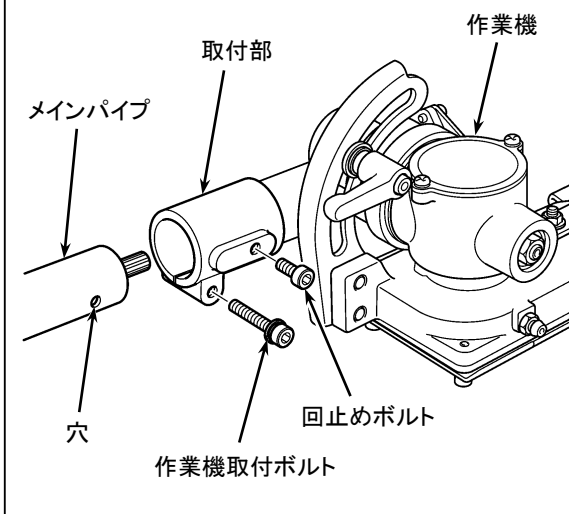
■ 別売品作業機の取り付け



警告

作業機取付時は、必ず刈刃カバーを装着してください。刈刃カバーを付けずに取付作業を行うと、刈刃で負傷する恐れがあります。

図2



1. メインパイプの端部のキャップを取り外してください。
2. 作業機の取付部に仮締めされている回止めボルト（六角穴付M5×10）を付属の六角レンチ（対辺4mm）で取り外してください。
3. 作業機の取付部を本体のメインパイプに差し込んでください。
4. 回止めのネジ穴とメインパイプの穴を合わせてから、回止めボルトを付属の六角レンチ（対辺4mm）で確実に締め付けてください。
5. 作業機固定ボルト（六角穴付M5×30）を付属の六角レンチ（対辺4mm）で確実に締め付けてください。

燃 料

⚠ 危 険

- 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。
- 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。
- 混合作業は屋外で行ってください。
- 剪定機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

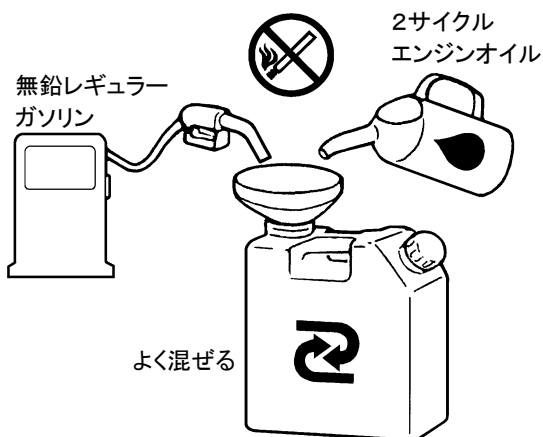
⚠ 警 告

- 燃料タンクキャップを開ける前に製品および補給用タンクを地面に置くなどして、帯電している静電気を除去してください。
- 燃料補給時に金属製の漏斗を使用しないでください。静電気が燃料に放電して火災の原因となります。
- 燃料タンクキャップを開けるときはゆっくりと開けて、タンク内の圧力を逃がしてください。
- 燃料パイプ、燃料グロメット、燃料タンク周辺から漏れやにじみがある場合は、直ちに使用をやめ、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 補給用燃料は、火気のない日陰に置いてください。
- 余った燃料は、金属製のガソリン携行缶で保管してください。
- 燃料を運搬する際は、金属製のガソリン携行缶を使用してください。

重 要

- オイルが混合されていないガソリン（生ガソリン）を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。
- 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。
- 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。剪定機や燃料容器に水がかからないようにしてください。
- 4サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。
- エンジン不調の原因となりますので指定外のオイルや混合比で使用しないでください。

図3



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル(FD級)使用時
.....50:1
(ガソリン 1L に対しオイル 20mL)

□ゼノア純正2サイクルオイル(FC)使用時
.....40:1
(ガソリン 1L に対しオイル 25mL)

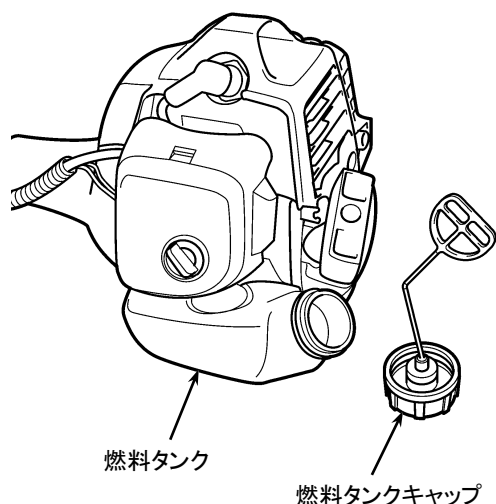
もしくは、JASO性能分類FD級のオイルを 50:1 の比率でよく混合してください。

給油

<p>⚠ 危険</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。
--------------------	---

<p>重要</p>	<p>燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。 燃料を入れ過ぎると、運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。</p>
------------------	---

図4



1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったら燃料タンクのキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

- ◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
- ◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
- ◎混合の手間不要
- ◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

エンジンのかけかた




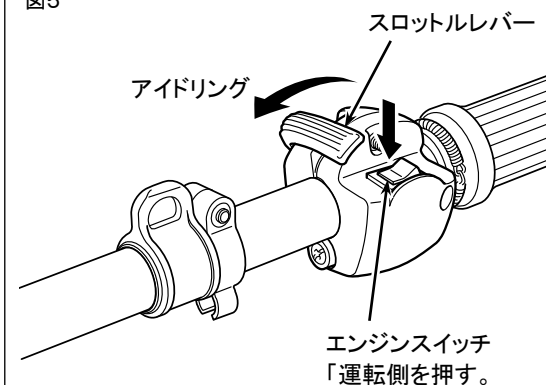
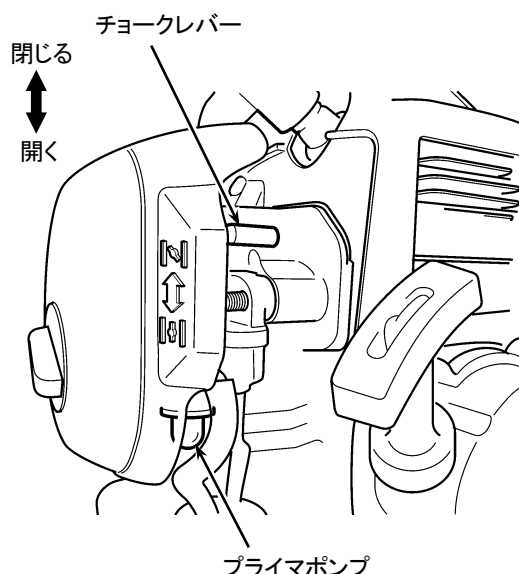
 危険	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。 給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドル位置にしてください。レバーがアイドル位置以外になっていると、刈刃が動き始めてしまうので非常に危険です。 ● エンジン停止時、移動時には必ずストップスイッチを「停止」側にしてください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 給油時にこぼれた燃料は、エンジンを始動する前に布で確実にふき取ってからエンジンを始動してください。 ● 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆりみやスロットルレバーの作動不良、刈刃取付部のゆりみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。刈刃が地面や周囲の障害物に触れる危険がありますので、機体を片手で持上げたまま始動しないでください。 ● スロットルレバーを引いた状態でエンジンを始動しないでください。 始動と同時に刈刃が動き始めますので非常に危険です。始動時は機体を安定した地面におき、刈刃の周囲から障害物を遠ざけてください。 ● 始動時は刈刃が地面に触れないようにし、周囲の障害物を遠ざけてください。 ● スロットルレバーを完全に戻しても刈刃が動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリューを点検してください。 ● エンジンがかかったら刈刃が動かないことを確認してください。 刈刃が動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリューを点検してください。 ● 運転時は常に両手でグリップ部を握り、刈刃から目を離さないでください。 ● 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグ、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。 ● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。
重要	<p>チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークを開き、スロットルレバーを全開に近い位置にセットしてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。</p>

図5



1. エンジンスイッチを「運転」側にしてください。
2. スロットルレバーをアイドリング位置にセットしてください。

図6



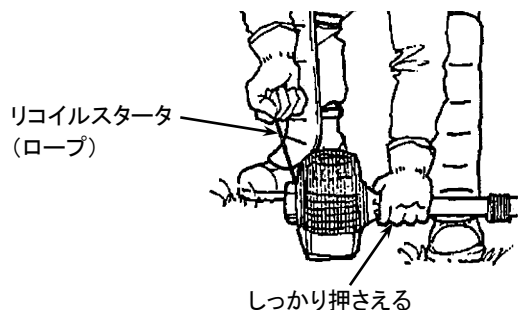
3. キャブレタ下部のプライマポンプでキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通してタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。オーバーフローする燃料は、燃料タンクに戻る構造になっているため、吸込み過ぎの弊害および漏れはありません。

補足 エンジンが暖まっているとき(停止後、約15分以内)は、プライマポンプの操作は不要です。但し、燃料がなくなり、燃料の補充をした後の再始動時には、プライマポンプの操作をしてください。

4. エアクリーナ右側のチョークレバーを上げてチョークを閉じてください。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータロープを引いてください。

図7



5. 機体を安定した地面に置き、刈刃の周囲の安全を確かめてから、左手でクラッチハウジングを押えながら右手でスタータノブを引いてください。

重要 スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。

6. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いてください。
7. 本格運転前に2～3分間低速で暖機運転してください。

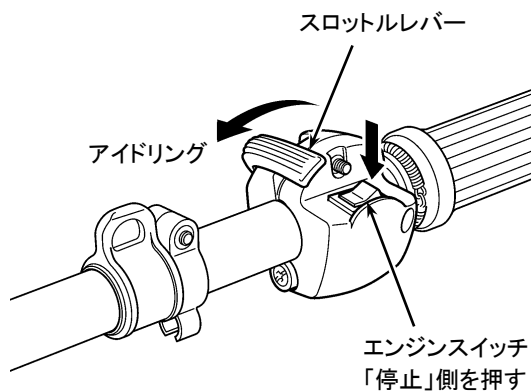
エンジンのとめかた



注 意



- 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。
- 高温によるやけどの恐れがありますので、停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグ、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。


図8




1. スロットルレバーを完全に戻してください。
2. エンジンスイッチの「STOP」側を押してください。

操作方法

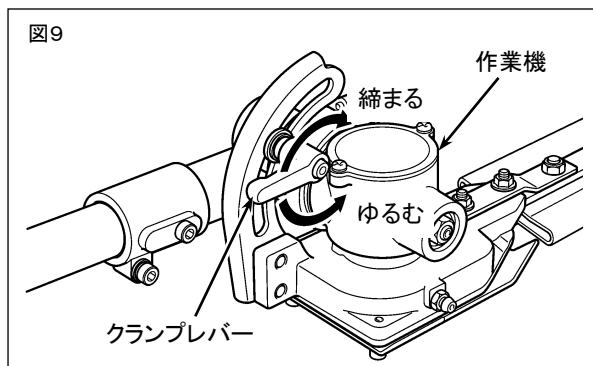
 危険 	<p>刈刃を配電線に近づけないでください。誤って刈刃で配電線を切断すると、感電により死傷する危険があります。</p>
--	--

 警告	<p>本製品は鋭利な刃物を装備しているため、取扱いを誤ると重傷事故を招く危険があります。使用時は次の事項を守って正しく操作してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 刈刃を人のいる方に向けないでください。 ● 刈刃の角度を変えたり、刈刃にかみ込んだ枝や切りくずなどを取り除く場合は、作業前にエンジンを停止してください。 ● 作業時および点検整備時は厚手の革製などの丈夫な手袋を着用してください。 ● 使用時以外は付属の刈刃カバーを刈刃に装着してください。 ● 落下する枝や切りくずで顔や目を痛める危険があります。作業時は作業帽(ヘルメット)、フェイスプロテクタ(顔面防護具)を着用してください。
---	---

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」(1～5ページ)記載の注意事項を守って正しく操作してください。 ● 剪定機本体を身に着けるときは、スロットルレバーを完全に戻して刈刃の動きが停止してから行ってください。
---	--

重要	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業時は刈刃を障害物に打ち当てないように注意してください。 高速で作動している刈刃を木の幹や切り株、石などに強く打ち当てると、刈刃や駆動部が損傷したりメインパイプが曲がったりする恐れがあります。 ● 本機には、過大な外力による刈刃や駆動ギヤの損傷を防ぐため過負荷保護機能が内蔵されています。作業中頻繁に枝をかみこむ場合は、以下の事項を確認してください。 ※ 枝の太さ: 刈り込む枝の太さは5mm位までとし、必要以上に太い枝は切らないでください。 ※ 刃先の状態: 磨耗したり刃こぼれしていると切断能力が低下し、枝をかみ込みやすくなります。 ● 刈刃を水にぬらしたまま放置したり、駆動部を水につけたりしないでください。 錆び付きや故障の原因となります。
-----------	---

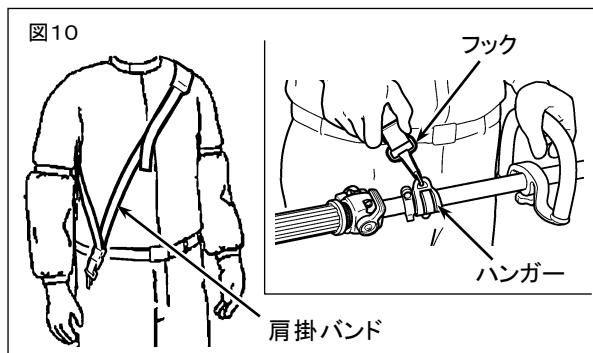
■ 刈刃角度の調整



1. エンジンを停止してください。
2. 作業機上部のクランプレバーを手前（エンジン側）に回してゆるめてください。
3. 刈刃を作業に適した角度にしてからクランプレバーを刈刃側に回して締めてください。

■ 肩掛バンドの装着

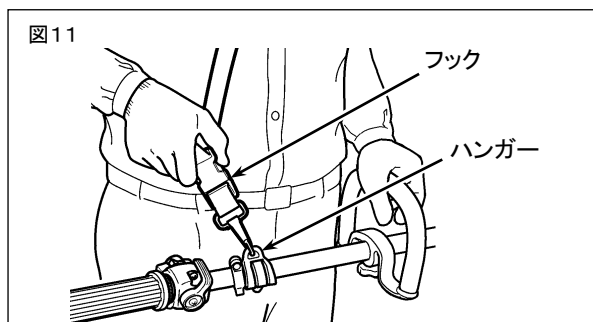
<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none">● 装着前にハーネスとハンガーに変形や損傷がないことを確認してください。● 装着後に機体を押下し、フックが容易に外れたりバンドがゆるんだりしないことを確認の上ご使用ください。
------------------	--



1. 付属の肩掛バンドを、フックが右側の腰にくるように着用してください。
2. エンジンを始動し、肩掛バンドのフックを剪定機のハンガーに確実にかけてください。

■ 緊急離脱ツマミの操作方法

<p>注意</p>	<p>緊急離脱ツマミを使って剪定機を切り離す場合は、必ず左手で機体を支えながらツマミを操作してください。機体を支えずに切り離すと剪定機が落下します。</p>
------------------	--



フック上部の凹部を両側から指でつまんでください。
フック保持部が2つに分離し、フックをハンガーにかけたまま、肩掛バンドと剪定機を切り離すことができます。

点 検 整 備



注 意

- 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。
- 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。
事故や重大な人身事故を招く恐れがあります。製品の改造が原因で故障した場合は、弊社保証の対象外となります。
- 部品交換時は純正部品または指定品を使用してください。
- ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点 検 項 目			処 置
1	作業機	・取付ボルトゆるみ ・刈刃のスキ間 ・刃先磨耗	・締め付け ・調整(19頁参照) ・研ぎ直しまたは交換
2	ハンドル	・取付部ゆるみ ・曲がり、破損	・締め付け ・交換
3	グリップ	・オイル付着	・ふき取り
4	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
5	スロットルワイヤ	・遊び過大/過小 ・動きが悪い	・修正 ・修理または交換
6	肩掛バンド	・フックの変形、損傷 ・バンドのほつれ	・修理または交換 ・修理または交換
7	エンジン取付部	・ゆるみ	・締め付け
8	燃料タンク	・取付部ゆるみ ・燃料パイプ損傷 ・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換 ・交換
9	マフラ	・取付部ゆるみ ・排気ガス出口の詰まり	・締め付け ・マイナスドライバなどで詰まりを取り除く

■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点 検 整 備 項 目		使 用 時 間			備 考
		20時間	25時間	100時間	
エ ン ジ ン	エアクリーナエレメントの清掃		○		
	燃料フィルタの点検清掃		○		
	スパークプラグの点検清掃、調整		○		スキ間 0.6～0.7mm
	冷却空気取入口、シリンダフィンの点検清掃		○		
	シリンダ取付ボルトの増締め			○	
	エンジン各部の増締め			○	
	マフラカーボン落とし			○	
	クラッチドラム汚れ除去			○	
本体	ギヤケースグリース補給	○			

■ 刈刃

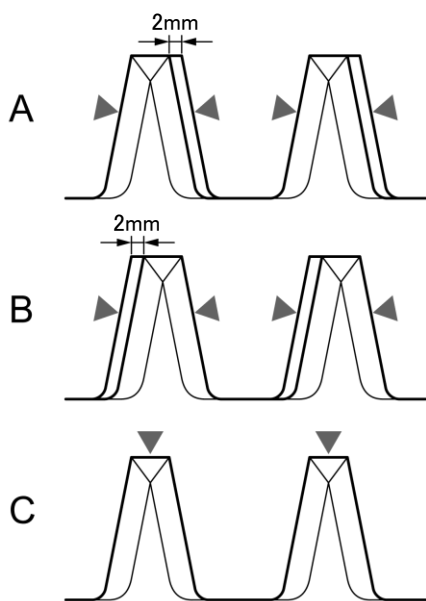
<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業を安全に行うために、作業開始前と作業終了後には必ず刈刃の点検をしてください。刈刃のゆるみ、ひび割れ、欠け、曲がりなどを放置して継続使用すると作業中に刈刃の破片が飛散し、作業者や付近にいる人に当たるなどして重大な人身事故を招く恐れがあります。 ● 刈刃点検時は必ずエンジンを停止してください。エンジンをかけたまま点検すると機体の転倒等により刈刃が動き出す恐れがあります。
------------------	---

<p>注意</p>	<p>刈刃の点検や着脱をするときは必ずエンジンを停止し、丈夫な手袋を装備してください。素手で刈刃を取扱うと負傷する恐れがあります。</p>
------------------	---

<p>重要</p>	<p>刃先が摩耗して丸くなった刈刃の使用は、切れ味が悪く、作業時に腕にかかる負担が増えます。また、機械の燃費や寿命にも悪影響を与えます。</p>
------------------	--

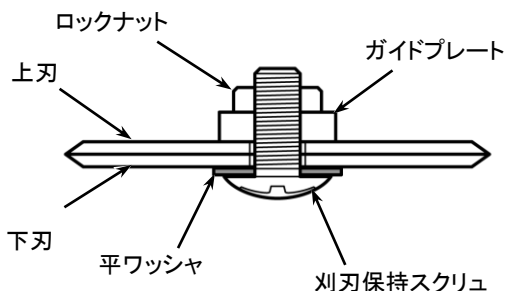
〔研ぎ方〕

図12



1. いったんエンジンをかけて低速で刈刃を動かし、上下の刃が約2mmずれた位置でエンジンを停止してください。(A)
2. 機体を確実に固定した後、上側（下側）の刃の出ている側を平ヤスリまたは小型のハンドグラインダーで一通り研いでください。次に下側（上側）の出ている側を同様に研いでください。(A)
3. 再びエンジンをかけ上下の刃が（1.）と逆方向に約2mmずれた位置でエンジンを停止してください。(B)
4. 上下それぞれ出ている側を（2.）の要領で研いでください。(B)
5. 最後に上下ぴったり重なる位置にして先端部を研いでください。(C)

図13



〔スキ間の調整〕

● 上下の刃にスキ間がある場合は、次の要領で締め代を再調整してください。

1. ロックナットをゆるめる。
2. スクリュをいったん完全に締め込んでから、 $1/3 \sim 1/2$ 回転戻す。
3. スクリュを固定しながらロックナットを締め付ける。
4. 平ワッシャが指で回ること確かめる。

重要 スクリュを締め過ぎると刈刃が動かなくなることがあります。逆に、スクリュがゆる過ぎると、切れ味が悪くなり、枝葉がかみ込まれやすくなります。

補足 刈刃が磨耗してスキ間調整ができない場合は、お買い上げ店に研ぎ直または部品交換を依頼してください。

■ ギヤケース

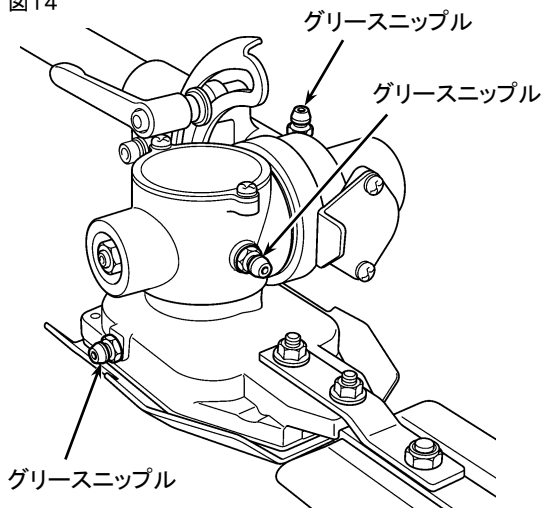
20時間使用毎を目安に、ギヤケースに潤滑用グリースを補充してください。

指定 グリース	ゼノア純正グリース(100g 入り) 品番:318096251 または リチウム系耐熱用グリース(＃2)
------------	---

□ 補充方法

グリースガンを使い3か所のグリースニップルから注入してください。

図14

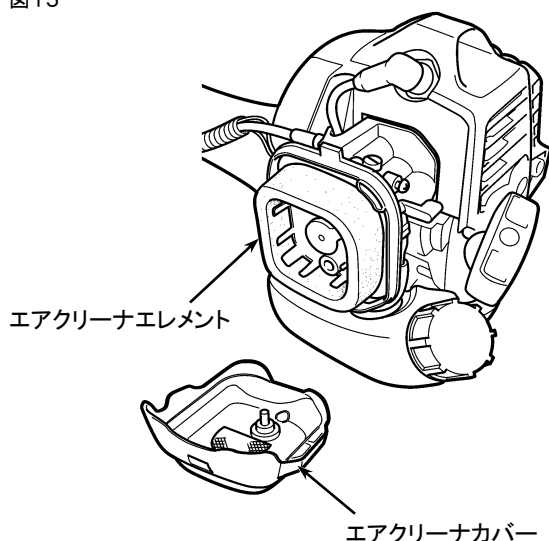


■ エアクリーナ

重 要

エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

図15



25時間使用毎を目安にエアクリーナカバーのノブをゆるめてカバーを取り外し、内部のゴミを取り除いてください。

エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でいねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。

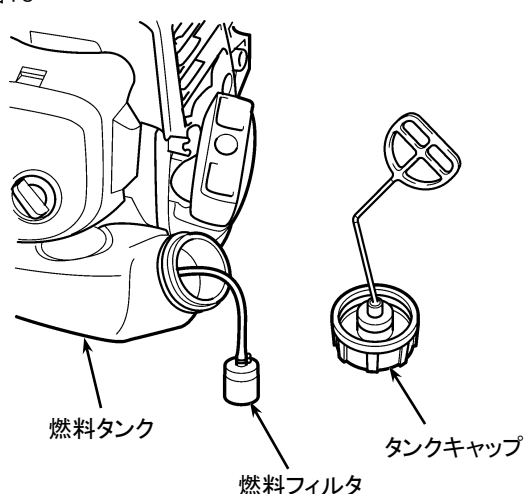
エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

重 要

燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり、回転変動を起こしたりします。

図16



25時間使用毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。

汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

■ スパークプラグ



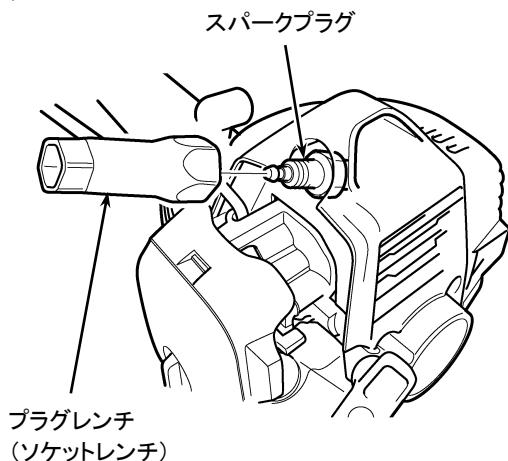
注 意

エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。
高温のためやけどを負う恐れがあります。

重 要

- スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締め付け時は必ず付属のプラグレンチ(ソケットレンチ)を使用してください。
- 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。
- プラグ交換時は指定品を使用してください。
指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

図17



25時間使用毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

- プラグ取り付け時は、まず指でねじ込み、最後に付属のプラグレンチ(ソケットレンチ)で締め付けます。

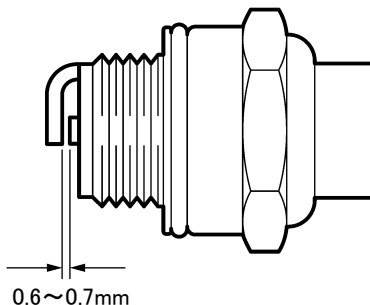
【締め付トルク】

15.3～22.4N・m {150～220kgf-cm}

重要

初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。

図18




- プラグ交換時は指定品を使用してください。

指定スパークプラグ

NGK BPM7Y

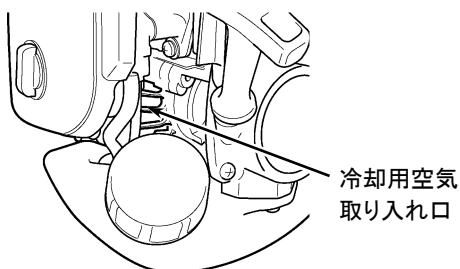
- 電極間隙は0.6～0.7mmが適当です。

■ 冷却用空気通路

 注 意	運転中は、冷却用空気取入口に物を差し込んだりしないでください。 回転部品に触れる恐れがあり危険です。
---	---

重 要	冷却用の空気取入口やシリンダフィンの上にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。
------------	---

図19



25時間使用毎に冷却用空気取入口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。

■ 100時間使用毎の手入れ

図20




1. マフラーを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラー出口のカーボンも落してください。

2. 各締付部の増締めを行ってください。

3. クラッチのライニングとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

■ エンジンの調整

 注 意	スロットルレバーをアイドルリング位置にしたときに刈刃が動き続ける状態は危険です。アイドル調整スクリュを再調整しても直らない場合は、スロットルレバーやスロットルワイヤの作動不良、クラッチ故障などの可能性がありますので、お買い上げ店に点検修理を依頼してください。
--	---

重 要	キャブレタは精密部品のため、分解整備には知識と技能が必要です。本書で説明している調整を行ってもエンジンの調子が思わしくない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
------------	--



スロットルレバーを完全に戻したとき刈刃が回り続けたりエンジンが止まってしまう場合は、アイドル調整スクリュでエンジンのアイドルリング回転速度を再調整してください。

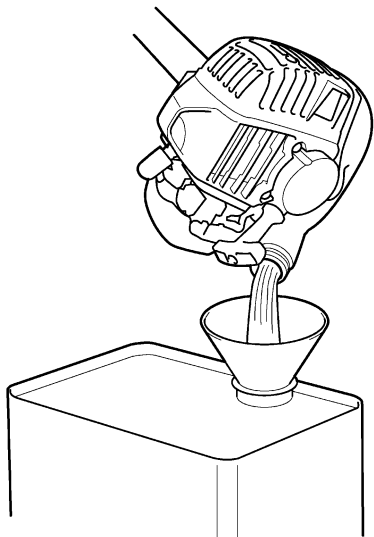
- ・ 右(時計回り)に回す ➡ 回転が上がる
- ・ 左(反時計回り)に回す ➡ 回転が下がる

■ 長期保管時の手入れ

危険	<p>引火による火災の恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。
-----------	---

重要	<ul style="list-style-type: none">● 長期間(2ヵ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。
-----------	--

図22




1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を容器に移した後、燃料フィルタを引き出してください。
3. キャブレタのプライマポンプを燃料が出なくなるまで押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. ギヤケースにグリースを補給し、スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗布してください。
8. 刈刃に軽くオイルを塗布してカバーを取り付け、屋内の火気や湿気のない場所に保管してください。

故障のときは

現 象	主 な 原 因	処 置
エンジンが始動しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(12, 13頁)
	・ 燃料吸い込み過ぎ	・ チョークを開き、スロットルを全開にしてロープを繰り返し引く(15頁)
	・ マフラ排気出口詰まり	・ 詰まり除去(24頁)
	・ スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・ 電極清掃またはプラグ交換(23頁☆)
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・ スイッチコード接続不良	・ 確実に接続する
エンジンが加速しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(12, 13頁)
	・ マフラ排気口詰まり	・ マフラ清掃(24頁)
スロットルを戻すとエンストする	・ アイドリング回転数が低すぎる	・ 再調整(25頁)
スロットルを戻しても刈刃が動き続ける	・ アイドリング回転数が高すぎる	・ 再調整(25頁)
	・ スロットルワイヤの遊びがない	・ ワイヤ取り直し点検、遊び再調整
エンジンの回転が変動する	・ 燃料フィルタ目詰まり	・ 燃料フィルタ清掃または交換(22頁☆)
枝葉をかみこみやすい 切り口がきたない	・ 刈刃切れ味低下	・ 研ぎ直し(20頁)
	・ 上下の刈刃スキ間過大	・ スキ間の調整(21頁)
燃費悪化	・ エアクリーナ目詰まり	・ エアクリーナ清掃(22頁)
	・ 刈刃切れ味低下	・ 研ぎ直し(20頁)

- ・ 上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- ・ ☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

 危 険	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。 ● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。 ● 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。
--	--



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社



0570-084987

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

(平成 27 年 12 月現在)

115763179 (E1/A1512) PRINTED IN JAPAN